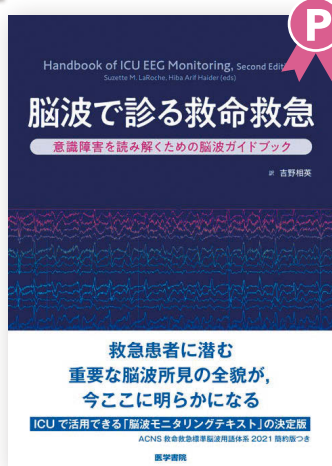




脳波で診る救命救急

意識障害を読み解くための脳波ガイドブック

Suzette M. LaRoche, Hiba Arif Haider＝原著

吉野相英＝訳

定価 15,400 円／B5 判・456 頁／医学書院／2023

ICU 脳波モニタリングの定番書に待望の翻訳版が登場。装置の設定方法といった基礎的な事項から、判読方法のポイント、疾患に応じた特徴的な所見、そして、治療での活用法まで必須事項を網羅。それらすべてが豊富な脳波図と翻訳経験豊富な訳者による精練された日本語で解説された必携の書。



『medicina』2023 年 3 月号 (Vol.60 No.3)

令和の脳卒中ディベート 10 番勝負

脳卒中治療ガイドライン 2021 とその先を識る

平野照之＝企画

定価 2,860 円／B5 判・184 頁／医学書院／2023

「脳卒中治療ガイドライン 2021」「ディベート・セッション」「令和の脳卒中事情」「読者の識りたいに答える」の 4 部構成。「ディベート・セッション」では 10 のテーマを取り上げ、エビデンスのない未解決の課題や、治療に携わる医療者の裁量に委ねられる“ガイドラインのその先”に位置する内容を論考した。対面学会でのディベート・セッションを紙面上で再現することを試みた。



『循環器ジャーナル』2023 年 4 月号 (Vol.71 No.2)

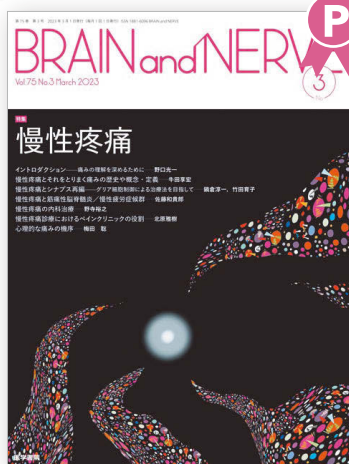
今だからこそ聞きたい心不全診療のこと。

猪又孝元＝企画

定価 4,400 円／A4 変判・152 頁／医学書院／2023

この四半世紀で心不全の診療体系は大きく変わり、定着した。エビデンスありきで、次に病態解釈を裏づけしつつ、そのうえで社会に普及させるという流れである。さらには、時間軸や原因疾患、臓器連関など論点が多岐にわたり、それらを含む目的で診療体系のイメージづくりが求められてきた。本特集では、見解が定まらない、あるいは意見が分かれる論点をピックアップ。さまざまな疑問を論考するなかで、今後を見据えた問題解決へとつなげたい。

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート(p.626)にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



『BRAIN and NERVE』2023年3月号 (Vol.75 No.3) 慢性疼痛

定価 2,970 円/A4 変判・96 頁/医学書院/2023

内科治療やペインクリニックでの診療の実際、近年病態が解明されつつある筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群と痛みとの関連など、臨床家による解説から、疼痛の病態生理、心理的な機序など基礎分野の話題まで幅広く取り上げた。国内には 2000 万人を超える慢性疼痛患者が存在するとされる。慢性疼痛対策を喫緊の課題として受け止め、明日からの臨床・研究につなげてほしい。